

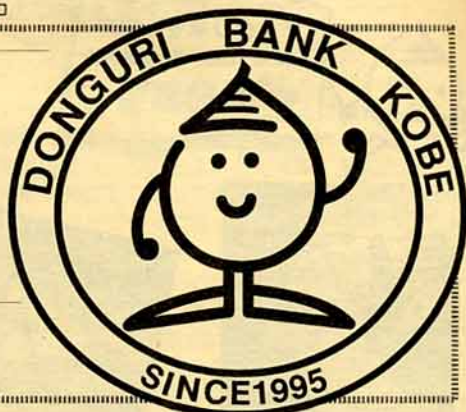
ドングリネット神戸不定期情報誌

ドングリタイムズ

第25号

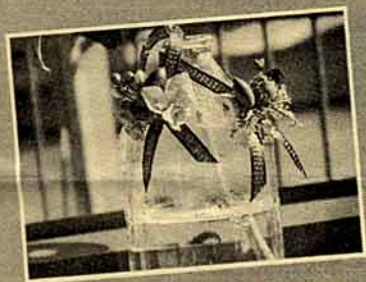
特集：植樹についてのソボクな疑問

ドングリネット神戸活動報告／小畑が斬る／本の紹介／ドングリな人
森遊び・種まきおじさんのお話 その5／でんごんぼん



きょう、ドングリで車をつくったよ。
どんぐりの車は、おしえてもらった
んだよ。よこにとんぐりのぼうしの
たいほうをつくって、まんなかにな
大きいとんぐりのぼうしをおいたよ。
右には、なにかわからないとげとげ
のものもかざったよ。タイヤは4こ
とんぐりでつくったよ。のせただ下
にはダンボールだよ。しょうずにでき
たよ。みんなののもしょうずにでき
とったよ。おしえてもらったせんせ
いは、ます田せんせいだよ。みんな
の、ゆうたのもの、ちゃんとまわ
るとおもうよ。ばくは、とんぐりの上
にめと、ねっこがでるのしとった
よ。おもしろかったよ。

五位ノ池小学校1年生あさうみゆうたくんの感想文。他にもたくさんありがとう！





ドングリネット神戸
02年10月～03年3月の
おもな活動報告



ドングリ・植樹ピクニック
おらが山



昨年植樹した苗木は、活着がよく約70パーセントは枯れずに育っていました。それでも頂上付近は、乾燥がきつく枯れているところが多かったため、間伐材で土留めを作り、新たに土を盛り、そこにウバメガシ・ヤマザクラ・ヤマモモ等の苗木約120本を植えました。

- 02.10.12 ドングリ銀行神戸臨時窓口 神戸総合運動公園に開設
- 02.10.23 神戸市立五位の池小学校1年生の授業にゲストティーチャーとして参加
- 02.10.30 ちどり幼稚園でドングリ工作教室
- 02.11.3 「ドングリピクニック」開催 奥須磨公園～おらが山（神戸市須磨区）
- 02.11.6 神戸市立北須磨小学校環境教育の授業にゲストティーチャーとして参加
- 02.11.15 神戸市立鷹取中学校「トライやる・ウィーク」受け入れ
- 02.11.16 東谷公園（神戸市垂水区）植樹祭に苗木提供・作業指導
- 02.11.17 香川「森の文化祭」で出展・交流会（香川・どんぐり銀行）
- 02.11.19-20 神戸市立本山第1小学校4年生とドングリ育苗成開始
- 02.11.23 もりもりおもちゃ箱フェスタにてどんぐり工作教室
- 02.11.24 ドングリ銀行神戸臨時窓口 伊丹長陽池公園に開設
- 02.11.30 「みどりのコミュニティデザイン」発刊（編集に参加）
- 03.1.12 ドングリのポット植え・腐葉土作り（神戸市西区押部谷苗畑）
- 03.1.26 ボランティア・市民活動元氣アップアワードで「こつこつ大賞」受賞
- 03.1～3 21世紀尼崎の森づくりハンドブックに編集委員として参加
- 03.2.20 ひよどり越森林公園（神戸市北区）での雲雀丘中学校の植樹に苗木提供
- 03.3.26 「森ネット」設立式に参加
- 03.3.16 神戸市立横尾小学校ピオタープ作りに苗木提供・作業参加
- 03.3.23 「植樹ピクニック」開催 おらが山（神戸市須磨区）



「トライやる・ウィーク」でドングリ銀行神戸の活動を手伝ってくれた小泉沙織さんからの便り

私がドングリ銀行のお手伝いをするのは初めてではありませんでしたが、普段ならお留守番だけという簡単な仕事しかしてなかったけど、トライやる・ウィークでは手紙の確認や通帳記入に訂正、「森の文化祭」の準備等朝から夕方まで内容の濃いたくさんの仕事でできてよかったです。



ドングリ銀行神戸 今年もたくさんのご参加ありがとうございました。

小畑が新る!! 15

こばたがきる 絵と文: 小畑 俊也

今回はドングリネット神戸として取組んでいる事から、私が「なぜ？」と思うことを書きました。

ドングリネット神戸として、多くの場所に木を植えることや、その計画などに参加することがあります。植樹とはその名前のとおり木を植えることですが、最近地域に住んでいる人たちが参加できる植樹のイベントが多くなってきました。参加することで、木を植える楽しさや緑への関心が高まり、良いことだと思います。植樹の多くは、山の崩れた所や大きな工事の後に元の緑を戻すために行いますが、どちらにしても緑を増やし、周りの自然に近いように元に戻すことが主な目的になっています。少しでも緑が増え、多くの生き物が住める環境ができることはとても良いことなのですが、実際に行われている植樹で少し違うような気がすることがあります。

先日もあるところに植樹の指導に行きましたが、ここでは見事なほどきれいに一直線上に等間隔に木を植えていました。自然の森や林は、決してそのような木の生え方はしていません。もっとランダムに植えても構わないと思います。実際に森を見てみると、大きな木や小さな木があちこちに生えています。これとなるべく同じような形で植えていくことが、より自然に近いと考えます。

●このコーナーは大人が子どもと一緒に読んで考えて下さい

植樹について



長い年月をかけて木々が成長し、徐々に緑のボリュームが増えていきます。

また、植える木の種類も、周りに生えている木と同じ種類にするのが望ましいですが、記念植樹ということで、残念なことに花がきれいな園芸種を植えたり、外国の木を植えたりと自然に適していないことが多いのも事実です。

ドングリネットも神戸市須磨区のおらが山を元の緑の山に戻そうと毎年植樹ピクニックを行っています。これは山を削っているの、掘るとすぐ岩盤にあたり、木が生長するのは少し難しいですが、土作りと植樹を繰り返し、6年目に入っようやく木が育つ環境が整いつつあります。木の種類も本来この山にある木の種類を選んで植えています。多くの参加者がこのことに関心を持って木を植えていけば、多くの生き物が住みやすい環境となるでしょう。



環境やドングリのことなど、わからないことや疑問に思うことがありましたら、小畑がわかる範囲でお答えします。下記メールアドレスまでお送り下さい。
E-mail eco-bata@qb3.so-net.ne.jp
尚、メールのみでの解答になりますのでご了承下さい。お待ちしております。

おしえて！

ドングリ博士

植樹についてのソボクな疑問

1.木を植えることってホントにいいこと？

木を植えて森林を増やしていくことは地球環境にとって、とても大切なことです。森林は地球温暖化（注1）の原因となっている二酸化炭素を吸収したり、大切な水を貯えたり、多くの生き物の生活の場となり、またいろいろな災害から国土を守ってくれます。世界の陸地の4分の1は森林ですが、世界では毎年、日本の国土の3分の1にあたる約1200万haもの森林が、主として熱帯地域や砂漠の周辺で減少しています。こうした地域の緑を保全するために、世界の多くの国の人たちが会議で話し合ったり、木を植えたりしています。地球温暖化など現在の地球環境問題の多くは、私たち1人1人の生活スタイルが原因で生まれています。木を植えて、木を育てることを通して、自然や命の大切さを学ぶとともに、地球環境まで目を向け、自分たちの生活スタイルを見直すきっかけにできればと思います。



注1:地球温暖化

20世紀後半から石油・石炭などの大量消費により、大気中の炭酸ガスの濃度が年平均0.5%ずつ増加している。炭酸ガス・水蒸気・フロンガスなどの増加は、光は通すが、出ていく熱が減るので、温室に似た状態になり、地球の地表付近の温度が上昇する。

本の紹介



「みどりのコミュニティデザイン」

中瀬 勲・植まゆみ 編
学芸出版社 刊

環境優先社会と市民活動の2つのうねりのちょうど重なり合うところにある「みどりのまちづくり」について、主に阪神・淡路大震災以降実際に取り組んできた市民や専門家や行政がそれぞれの立場で活動を紹介しています。ドングリネット神戸も市民代表として、その成り立ちからこれからの活動についてかなり詳しく紹介しています。他にもだんだん畑のコミュニティや住民参加型公園づくりなど、興味深い内容が盛りだくさんです。

ドングリネット神戸の
8年間のあゆみが本に
載りました！

本プレゼント！

「まちの緑について思うこと」
または「あなたの植樹体験」
を800～1000字程度にまとめ、
事務局までお送り下さい。お
送りいただいた中から1名の方
に「みどりのコミュニティ
デザイン」を差し上げます。
イラストなどもつけてくださ
ると嬉しいです。

2.いつ植えるのがいいの？

もし自分が植物だったらと考えてみて下さい。夏場の暑い時期（7月～8月）は根が乾燥しやすく、冬場の凍えるような時期（1月～2月）は寒さで根を傷めやすく、植物にとって厳しい時期です。基本的にはこれらの時期以外ではいつでもよいのですが、植えた後に無理なく根を伸ばすことができる春（3月～5月）、秋（9月～10月）が最適です。

3.大きく育った木しか植えられないの？

植える木の大きさは、一般的に50cm～1mに生長した苗木を植えます。余り大きく育ちすぎたものは、植える時の手間がかりすぎる上に、根の活着が悪いので避けた方が無難です。ドングリの場合ではドングリをそのまま播く（播種 はしゅ といいま）方法もあります。この方法では、主根がくいのようにまっすぐ地中に伸び元気な根をもつ木が育つ、競争が働くためより生存に適した個体が残っていく、植える時の労力が少なくてすむといった利点があります。

このコーナーは、毎回ドングリのえらい人を紹介しています。

ドングリ名人

神戸大学ガーデニングサークルの皆さん



私たち「ガーデニングサークルつちのこ」がドングリネット神戸の活動に始めて参加させていただいたのは、今年の1月でした。普段は大学内で活動しているのですが、自分たちの住んでいる地域の環境づくりが出来るということで、喜んで参加させていただいております。人生の先輩やその道のエキスパートと言えるような方々と共に作業ができ、学ぶことも多いです。

自分が植えたドングリが苗となり、定植されて、神戸の山をつくっていくと思うと、数年後がとても楽しみです。今後も活動に積極的に参加し、神戸の山々と長く付き合っていきたいと思っています。

森遊び
植まきおじさんのお話

その5

「おらが山でドングリを
植え続ける活動」

文：和田邦孝さん

皆様は、会報に毎年載ってる、おらが山での年3回の活動に参加されたことはありますか？

おらが山での活動は「ドングリネット神戸」と「こうべ森の小学校」の共催です。その出会いは、神戸総合運動公園でのフェスタで、たまたま隣のテントだったことにはじまります。共に緑を相手にした活動のため、いっしょに出来ることがあればいいねってところからスタートしました。

植えるだけの記念植樹はどこにもありますが、おらが山の活動は、植えっぱなしではなく、自ら保育も続けようという思いがあります。秋にドングリを拾って銀行に預けたり、苗木にしたのを春に植えて、夏には苗木にかかる草刈をしてという、年3回の活動を定期的に繰り返しているうちに森が育つという思いです。足掛け6年、当時はどこまで長期になるかは考えてなかったと思います。

2002年は六甲山近代植林百周年でしたが、ここでも森らしい森になるには、ほんとに百年かかるかも知れません。

4年前からは、地元の青年団も関わり、さらに自治会の方も加わって、同じ日に同じ場所での活動することになりました。おらが山が緑になったらいいなという思いが、地元の人の心を動かし、憩いの場所になるようにと地元の方の行動につながったのだと思います。より深く連携しながら、活動が定着すればと思います。

人のつながりがより大きな実りをもたらし、さらにこうしたドングリを通した緑化活動が、各地で広がればと願っています。



間伐材で土留めを作り土を入れ、そこに苗木を植えています。

03.23のおらが山での植樹ピクニック風景

筆者紹介：和田邦孝（くにたか）さん：神戸市森林整備事務所勤務の際「こうべ森の小学校」を立ちあげた一人。森林インストラクターでもあり森林の生態に造詣が深いだけでなく、里山の手入れや森遊びグループの応援的存在で、実際に出向いて一緒に汗を流す手間を惜しみません。現在は、神戸市北建設事務所公園緑地係勤務。和田さんの播いた里山活動の種があちこちで花を咲かせています。



春うらら～払い戻し窓口の季節じゃぞ～



苗木払い戻し窓口開設のお知らせ

クヌギ・アラカシ・ウバメガシなどドングリの木の他
ムクゲ・サクラなど約10種類の苗木と交換できます。

■5月4日(日) 10:00～16:00

神戸総合運動公園 水上ステージ横

「花のフェスタこうべ'03」

神戸市営地下鉄「総合運動公園駅」下車南側へ徒歩5分
▼駐車場あり(有料)当日は混雑が予想されます。

■5月11日(日) 10:00～16:00まで

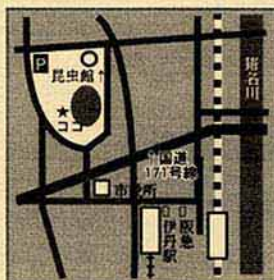
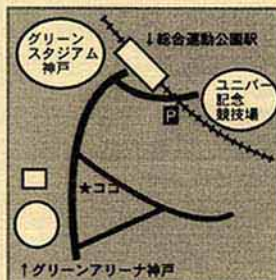
伊丹昆陽池公園 草生地広場

「いたみ緑化フェア」

阪急・JR「伊丹駅」より市営バス
西野武庫川センター行

「住友北」または「昆陽池公園前」下車2分
昆陽の里行 「市役所前」下車5分

▼駐車場あり(有料)当日は混雑が予想されます。



通帳をお忘れなく
1000円まで
なくてもOKだよ



グッズ販売や
ドングリ工作
もあるよ
(こちらは有料)

おらが山 下草刈りピクニック 参加者大募集!

6月29日(日) 須磨・おらが山

10:00～16:00(須磨駅からバスで行けます)

少し先の話ですが、おらが山の下草刈りを今年もやります。
暑い季節なので、直接現地に集まって朝から作業。もちろん
午後には下草を使った工作や、おやつのお楽しみもあります。
ぜひ家族でご参加下さい。

お申し込み方法は、ハガキに希望者全員の住所・氏名・年齢・
性別・電話番号を明記の上、6月10日までにドングリ事務局
あてお送り下さい。参加者には、後日、集合場所・スケジュー
ールなどをお送りします。(抽選になる場合もあります)

主催: 神戸市森林整備事務所・ドングリネット神戸

このHPにドングリネット神戸の活動紹介が出ています

ひょうご森ネット

<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/donguri/index.html>

ひょうご21世紀記念事業推進連絡協議会では、2000年から2002年の3年
間、県民といっしょに「21世紀の兵庫の森づくり記念事業」を推進して
きました。「ひょうご森ネット」は、その普及啓発活動の一環として、
森づくりを推進するため、緑化などに関心のある団体が、それぞれの活
動内容を情報交換する緩やかなネットワークとして設けられました。

<現在の参加団体>

アルファグリーンネット・大地の輪ネットワーク・ひょうご森の倶楽部
・ドングリネット神戸・フナを飼える会・尼崎21世紀の森づくり協議会

おわび

資金難などの事情により、昨年に引き続きタイムズの発行が年
2回になってしまいました。不定期とはいえ代金をいただいで
いるものですので、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。
いただいた購読料は、1回100円分としてカウントしております
ので、どうかご了承下さい。

団栗応援団 どんぐりおうえんだん たより

今年は、1月にこつこつ大賞20万円というのをいただいて、幸先のよい
スタートとなりましたが、苦しい財政状況は相変わらずで、真剣に事務局の
閉鎖も検討していました。しかし、参加者は増え、楽しいことも増え、新し
いプログラムも始まっているので、何とか続けていきたいと思います。
皆さんからの応援が何よりです。本当にありがとうございます。(会計担当)

●ドングリタイムズ24号発行後、03年3月31日までに「団栗応援団」にご送金いただきました
方のお名前は、以下の通りです。ありがとうございます。

山口正邦、GCコーポレーション、福田典子、小西健司、大垣地宏、近木 将、山崎智子、古川 潤、
中村昌子、増田恵一、重野彰、飯下智章、前川 宏、酒見 亮、宇野香葉・和子、唐田智弘、原田久美子、
藤本悠介、北尾 守・朋子、中西貴太、松井智恵、永山 楓、近江岸建助、鳥越和美、藤井悠太、山下里加、
戸谷恒憲、田代俊彦、寛幸公敏、中西 収、金城辰夫、太田幸枝、橋本敬子、小河美智子、千鳥幼稚園、
岡 健、中島克之助、佐々木タ莉・陸斗、香川洋二、(株)栄光園芸、白神咲子、今井良英、安井美保子、
つねみなほ子、ピコピコ会上田直子、吉田節子、大滝玲子、仲 淳子、大川四郎、新海宏枝、
日本災害救援ボランティアネットワーク(順不同・敬称略)

おうえん
してね



団栗応援団とは

ドングリネット神戸のサポーターです。
応援していただいた方には、8回分ドン
グリタイムズをお届けいたします。
今年も、主に苗畑の充実と植樹活動に
使わせていただきます。所定の用紙で
郵便局よりお振り込みをお願いします。

年会費(一口) 個人 2,000円
団体 10,000円

口座番号01180-0-67858

編集 後記

・毎年2月には発行している春の号。今年は2冊の本の編集にかかわっている間に
ホントに遅くなってしまいました。ごめんなさい。本読んで下さいね。(MASU)
・「吹く風が 春の香りを 運んでく」 転載したい、どこかいいとこないで
しょうか? (COBA)

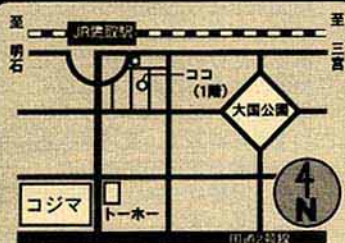
ドングリネット神戸 事務局

〒653-0054 神戸市長田区長楽町2丁目2-15

Tel./Fax. (078)739-2929

E-mail d-n-kobe@cb3.so-net.ne.jp

代表 マスタマキコ白宅 Tel./Fax (078)997-5541



●事務局は、毎週火曜日の10:00～12:00開局しています。(イベント等でお休みすることもあります)

●事務局は不在にしていることが多いので、お問い合わせはなるべくFAXまたは郵送にてお願いします。

JR三宮駅南側のロータリー左端の路地を東へ
2筋目を右へ、赤いらせん階段と看板が目印です。